



ヨナは三日三夜、腹の中をさまよった。彼は、神に怒られたことを悔い改め、神に祈りをした。神はヨナを魚の腹から救い出した。ヨナは、神の恵みに感謝し、神を讃えた。ヨナは、神の恵みに感謝し、神を讃えた。ヨナは、神の恵みに感謝し、神を讃えた。

Let's go!

二ノペに遣わされるヨナ

ヨナは、神に怒られたことを悔い改め、神に祈りをした。神はヨナを魚の腹から救い出した。ヨナは、神の恵みに感謝し、神を讃えた。ヨナは、神の恵みに感謝し、神を讃えた。

ヨナは、神に怒られたことを悔い改め、神に祈りをした。神はヨナを魚の腹から救い出した。ヨナは、神の恵みに感謝し、神を讃えた。ヨナは、神の恵みに感謝し、神を讃えた。

ヨナは、神に怒られたことを悔い改め、神に祈りをした。神はヨナを魚の腹から救い出した。ヨナは、神の恵みに感謝し、神を讃えた。ヨナは、神の恵みに感謝し、神を讃えた。

はじめに

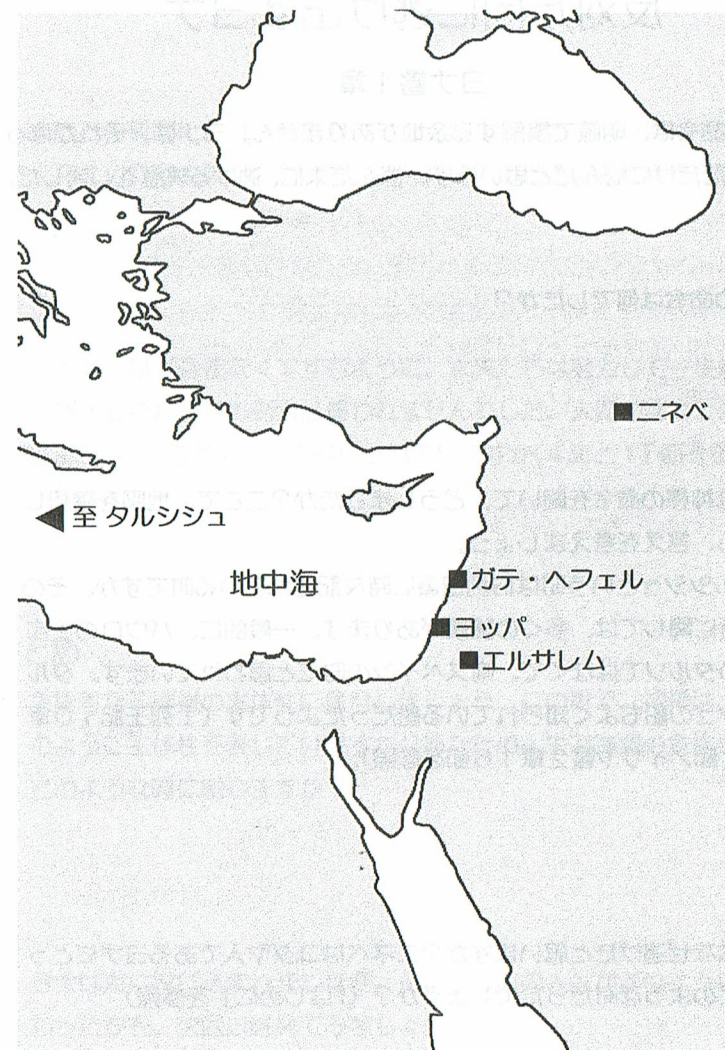
イスラエルは、B.C.950年ごろ、北王国と南王国とに分裂しました。ヨナ書の中心人物であるヨナは、北王国の預言者でした。B.C.788年から、ヤロブアム王が北王国を治めました。そのヤロブアム王の治世で活躍した、唯一の預言者はヨナでした。

ヨナの出身は、ガテ・ヘフェルでした。このガテ・ヘフェルという町は、ゼブルン族の地域に属していました（Ⅱ列王記14章25節／ヨシュア記19章10～13節を参照）。彼のお父さんであるアミタイについては、残念ながら、聖書には何も書いてありません。

ヨナがヤロブアム王に語った預言がその通りに実現したことが、上記の聖書箇所に記載されています。神様に用いられていたヨナが、人生のある時期に、神様の命令に従わないで、反発して逃げ出しました。神様の取り扱いを受けたヨナが、その後、二ネベに行きました。二ネベという町は、イスラエルの敵対国であって、アッシリア王国の中心的な町でした。

ヨナの経験を通して、神様に遣わされることについて、ヨナ書を学びながら、これから考えていきましょう。そして、ヨナが語った「メッセージ」を通して、二ネベの人々が悔い改めたことにも、注目しましょう。皆さんは、ヨナや二ネベの人々に起こった出来事を、是非自分のこととして考えて学んでほしいと思います。

地図を見ると、ヨナがどのような行動を取ったのかをより深く理解できることでしょう。



I

反対方向に逃げ出すヨナ

ヨナ書1章

神様の命令は、明瞭で誤解する余地がありません。ヨナは、それがはっきり解ただけに悩んだと思います。悩んだ末に、逃げる決意をしました。

1. 神様の命令は何でしたか？

2. ヨナは神様の命令を聞いて、どうしましたか？ここで、地図を確認しながら、答えを考えましょう。

注：タルシシュという町は旧約聖書に時々記されている町ですが、その場所に関しては、多くの論議があります。一般的に、パウロの生まれのタルソではなくて、南スペインの町だと思われています。タルシシュの船もよく知られている船だったようです（I列王記10章22節／イザヤ書2章16節を参照）。

3. ヨナはなぜ逃げたと思いますか？ニネベはユダヤ人であるヨナにとって、どのような町だったのでしょうか？（「はじめに」を参照）

4. 水夫たちが皆、自分たちの神様に叫んで、助けを求めたのに、ヨナはなぜ船底で寝込んだのでしょうか？

5. 水夫たちの質問に、ヨナは自分のことを話しています（9節）。この答えとヨナの行動の矛盾について、あなたはどのように考えますか？

6. ヨナを海に投げ込まなくてすむように、水夫たちは努力して一生懸命にこぎましたが彼らの努力は報われませんでした。人間の努力と神様の計画は、ここでどのように対比されていますか（4節と17節を参照）。

まとめ

a. 主権者なる神様の主体性に注目しましょう。この章で、神様は、どのように主体性を表していますか？あなたの人生で神様の主体性をどのような時に感じますか？

b. ヨナは海に投げ込まれましたが、そこから彼の人生がどのように変わったかを、次回以降見てみましょう。

2

ヨナの祈り

ヨナ書2章

ヨナは海に投げ込まれて、大きな魚に飲み込まれました。この大きな魚に関しては、多くの議論があります。しかし、私たちは、この箇所も神様の真理のみことばだと信じています。今も世界の海に存在している魚の中に、30mもの長い鯨がいるそうです。そのような鯨のおなかの中から、10mぐらいのイカを生きたまの形で見つけたこともあるそうです。ですから、魚の大きさについての議論よりも、ヨナがどのように変わり始めたかに注目しましょう。

1. 1章5～6節をもう一度読んで、2章1～2節と比べて、ヨナの行動はどのように変わりましたか？

2. ヨナは自分の恐怖をどのように表現していますか？

3. 神様の目の前から追われること（4節）は、ヨナにとってどのようにつらかったと思いますか？

4. ヨナは神様に何を感謝していますか？

5. ヨナの祈りを読んで、何が心に残りましたか？

まとめ

ヨナがいつ神様に悔い改めたのかは、このヨナ書に記されていません。しかし、神様に悔い改めをしなければ、感謝もわいてこないように思います。

神様にまだ悔い改めていない罪があるならば、神様に祈って、そして、神様との関係が回復したところで、ヨナのように感謝をしましょう。

裁きの説教と悔い改め

ヨナ書3章

ヨナが二ネベに行って、神様の裁きのメッセージを、二ネベの人々に向かって叫びました。ヨナが神様に忠実に従ったことで、二ネベの町中で、思わぬ変化が起こりました。

■召しに応えるヨナ 1～4節

1. 1～3節の箇所を、1章1～3節と比較しましょう。そして、3章1節に書いてある「再び」に注目しましょう。ヨナの状況を考えると、「再び」ということばにどのような重みがありますか？それは、どのような恵みだといえるでしょうか？
2. 「わたしがあなたに告げることばを伝えよ」と、2節に書いてあります。これは、ヨナの預言者としての使命をどのように表していますか？
3. ヨナの心の変化が、どのように書かれていますか？

■二ネベの人々の悔い改め 5～10節

当時の人々は、何か出来事を書き記すときには、結果を先に書いた後に、結果へのプロセスを書きました。今日の聖書箇所でも、5節を9節の後に入れると順番がよくわかりますので、先に6節～9節を見ましょう。

4. 二ネベの王と大臣たちは、どのようなことを命令しましたか？4つ挙げましょう。
5. この4つのステップから、私たちは何を学ぶことができますか？（荒布をまとうとは、当時、悲しみや神様の前でへのりくだりを具体的に表現する方法でした。）
6. この4つの行動を通して、二ネベの王と町の人々は何を願って、期待していましたか？
7. 神様が二ネベを滅ぼさなかったのはなぜでしょうか？

まとめ

ヨナは神様に遣わされて、二ネベの人々に神様の適切なメッセージを語りました。それによって、町中に大きな変化が起こりました。あなたに置き換えて考えて、あなたが遣わされている大学の現代の学生に何を伝えれば良いでしょうか？

ヨナの不満と神の取り扱い

ヨナ書4章

ヨナは神様のメッセージをニネベの人々に伝え終えました。彼は町の東で、自分のために仮小屋を作って、ニネベの町の行く先を見ようと思っていました。ニネベの東の方は、少し丘があるそうです。町の行き先を上から見下ろすには、良い場所でした。ヨナの心には再び怒りが込み上げてきます。神様のやさしい取り扱いに注目しましょう。

1. ニネベの人々は神様の厳しい裁きを受けずに済みました。それがヨナにとって、なぜ喜ばしいことではなくて、不満の原因になったと思いますか？
2. 2章を見ると、ヨナは神様をあがめて、感謝していますが、この4章では、怒りを神様にぶつけています。この感情のアップダウンは、あなたにどのようにうつりますか？今までにそのような経験があったら、分かち合ってください。エレミヤ書17章9～10節を参照してください。
3. ヨナの怒りに対して、神様は何をしますか？

4. 一夜で生え、一夜で滅びたとうごまの木を通して、神様はヨナに何を教えようとしていましたか？

5. ヨナ（私たちも）の考えと、神様の愛と公平さとは、どのように違いますか？Ⅱテモテ2章13節と、Ⅱペテロ3章9節を参照して下さい。

まとめ

ヨナ書はここで終わります。ヨナが神様の取り扱いによって、どのように変わったかは記されていませんが、新約聖書でもヨナ書を取り上げていることを考えると、ヨナが悔い改めて、神様との関係を取り戻したのだと思われます。

このヨナ書を通してあなたは何を思われましたか？どのような発見がありましたか？

Let's go!

ニネベに遣わされるヨナ

初版 2010年2月25日

著者 ブイ・エステル

発行者 キリスト者学生会主事会

発行所 キリスト者学生会

〒101-0012

東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル3F

TEL. 03-3294-6916

FAX 03-3294-6050

e-mail office@kgk-japan.net